

- 問1 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、銅剣や銅矛、銅鐸などの青銅器は、時代が進むにつれて本来の武器としての役割から変化し、どのような目的で用いられるようになりましたか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 豊作などを祈るための祭りの道具
 2. 仏教の教えを広めるための儀式用具
 3. 巨大な古墳を築造するための土木用具
 4. 定期市で品物を交換するための貨幣
- 問2 1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 秦
 2. 漢
 3. 隋
 4. 魏
- 問3 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器のうち、銅とスズの合金で作られ、主に豊作を祈るなどの祭祀（祭り）の儀式に用いられた道具の総称を何というか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 鉄器
 2. 打製石器
 3. 青銅器
 4. 土器
- 問4 佐賀県に位置する吉野ヶ里遺跡は、周囲を深い堀や土壁で囲んだ大規模な環濠集落である。このような集落が造られた当時の社会背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. ナウマン象などの大型の獲物を効率よく捕獲するための罠として、村の周囲に深い溝を掘る必要があった。
 2. 氷河期が終わり海面の上昇が激しくなったため、集落が水没しないよう高い防波堤を築く必要があった。
 3. 大陸から仏教が伝来し、その寺院を保護するために宗教的な儀礼として堀を巡らせる必要があった。
 4. 稲作によって収穫物の蓄えや土地・水をめぐる争いが集落間で発生したため、外敵から守る必要があった。
- 問5 弥生時代の吉野ヶ里遺跡などに見られる、高い木材を組み上げ周囲に柵を張り巡らせた「物見やぐら」が作られた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 稲作の普及により土地や水をめぐる争いが増え、集落を守るための防御機能が必要になったため。
 2. 高床倉庫に保管した穀物がネズミの被害に遭わないよう、高い場所で常に監視を行うため。
 3. 大陸から伝わった仏教の儀式を行うため、天に近い高い場所で祈りを捧げる必要があったため。
 4. 天皇を中心とした中央集権体制が確立し、地方の豪族がその権力を誇示するために建設したため。
- 問6 弥生時代の遺跡で見つかる特徴のうち、当時の社会において集団間の緊張や争いがあったことを最も直接的に示しているものはどれですか。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
1. 集落を二重、三重に囲む深い堀や、尖った杭を並べた逆茂木（さかもぎ）の跡
 2. 湿気やネズミの被害から穀物を守るために、柱にねずみ返しを設けた床の高い建物
 3. 祭祀や宝物として用いられたと考えられる、複雑な文様が描かれた青銅製の銅鐸や銅鏡
 4. 収穫した稲の穂を効率よく摘み取るために使用された、平らな石に穴を開けた石包丁
- 問7 弥生時代に稲作が普及すると、土地や水の利用をめぐる集団間の争いが起こるようになりました。こうした外敵の攻撃から集落を守るために、周囲に深い堀や柵を巡らせた当時の集落の形態を何といいますか。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
1. 竪穴住居
 2. 高床倉庫
 3. 高地性集落
 4. 環濠集落
- 問8 出土した人骨の統計において、縄文時代に比べて弥生時代は武器などによる傷を受けた割合が高いことが分かっています。こうした背景から、当時の人々が敵の侵入を防ぐために、居住域の周囲に深い堀や溝を巡らせた集落を建設しました。この防御的な構造を持つ集落を何と呼びますか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 環濠集落
 2. 高床倉庫
 3. 前方後円墳
 4. 竪穴住居
- 問9 弥生時代に製作された青銅器のうち、釣鐘のような形をしており、表面には当時の生活の様子や動物の文様が刻まれている「銅鐸（どうたく）」は、主にどのような目的で用いられたと考えられていますか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 衣服を織るための繊維を整えたり、糸を紡いだりするための機織り用の道具として用いられた
 2. 作物の豊かな実りを祈るなどの祭りの道具として用いられた
 3. 集落間の戦いにおいて、敵を攻撃したり威嚇したりする武器として用いられた
 4. 収穫した穀物を煮炊きしたり、保存したりするための調理器具として用いられた
- 問10 弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一つで、釣鐘（つりがね）のような独特の形をしており、主に近畿地方を中心に発見されている、農耕の祭祀（さいし）に使われたと考えられている道具の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 銅鐸
 2. 銅鏡
 3. 銅剣
 4. 銅矛
- 問11 3世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送り「朝貢」を行った政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 中国の進んだ稲作技術を独占し、食料生産を安定させることで人口を増やすため
 2. 中国から仏教を公式に導入することで、宗教の力を用いて争いの絶えない国内を鎮めるため
 3. 中国の大国の権威を背景に、国内における自らの支配の正当性や地位を高めるため
 4. 中国の優れた文字（漢字）を学び、律令制度に基づいた中央集権国家をいち早く形成するため
- 問12 弥生時代に大陸から伝わり、日本の社会を大きく変化した稲作の広がりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 稲作の普及により、それまで使われていた打製石器がすべて消失し、すべてが青銅器や鉄器に置き換わった。
 2. 稲作は九州から始まり、東北地方まで広がったが、当時の気候や環境の影響もあり北海道や沖縄を除く地域に定着した。
 3. 稲作が伝わった直後に大王（おおきみ）と呼ばれる強力な支配者が現れ、全国の開墾を命令した。
 4. 稲作は日本全土に均一に広まり、北海道や沖縄においてもこの時期に大規模な水田開発が行われた。
- 問13 3世紀前半の倭（日本）について記した中国の歴史書である「魏志倭人伝」には、多くの小国を従えた強力な勢力の存在が記されています。この勢力の名称と、周辺の小国を連合させて治めていたとされる女王の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 奴国 — 卑弥呼
 2. 奴国 — 持統天皇
 3. 邪馬台国 — 推古天皇
 4. 邪馬台国 — 卑弥呼